

「とらいあんぐる」とは…利用者様と家族、地域の皆様、私たちみゆきの丘の“つながり”を表した言葉です。

年頭所感

社会医療法人みゆき会
老人介護保健施設みゆきの丘 施設長
佐藤 伸 二



新年あけましておめでとうございます。
令和8年の年頭にあたり新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より当施設の運営にご高配いただきまして誠にありがとうございます。
本年もまたかわらずご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、「みゆきの丘」は昨年より山形県老健協会の村山地区代表（2年の輪番）を務めていますが、協会内の研修会などを企画準備するなかであらためて「老健」について考える機会を得ました。

「老健（ろうけん）」は「介護老人保健施設」の略ですが、当時の「社会的入院」解消と医療・介護の連携を目指し、昭和62年（1987年）に7か所のモデル事業（厚労省）から始まりました。要介護状態の高齢者が医師の管理下でリハビリテーションや看護・介護を受け、家庭復帰（在宅生活）を目指すための公的な介護保険施設です。時代の要請に応じてその後急速に増加して、施設数は全国で約4200に達しています（2021年）。2000年の介護保険導入後は、在宅復帰・在宅支援機能が重視され、近年では在宅強化型老健として進化し、地域包括ケアの中核を担う施設へと発展しています。また、在宅復帰支援に加えて「人生の終幕をどう閉じるか」にも大きく関わっていく流れがあるなかで、老人介護での「老健」の役割はますます大きく重要になってきています。

昨年の老健協会村山地区研修会では「老健でどう看取るか」をテーマに、神谷浩平先生のご指導の下に講義・グループワークを実施して、有意義な研修会となりました。

また、今年2月26日に山形県老健施設大会（テーマ「近未来の老健を考える」）が開催される予定で、当施設として村山地区会員とともに準備に取り組んでいるところです。基調講演に全国老健協会 会長東憲太郎先生をお招きします。様々な視点から老健の今後を話し合える場になればと思います。関係者の多数の参加をお待ちしたいと思います。

さらに、「老健」の全体像を体感するために全国老人保健施設大会（山口県下関市）に初めて参加しました。医療、看護、介護、リハビリ、栄養、薬剤、相談、事務など多職種3,000人余りが集い、講演、発表、議論しあう興味深い会合でした。改めて老健で働く人々の多様性と仲間意識を、またともに進もうという高揚した気分を感じさせられました。

「老健みゆきの丘」は、1996年に開設されて今年30年を迎えます。これを区切りに、多職種の共同体としてそれぞれが重要な役割を担いながら、コミュニケーション・思いやり・相互サポートなどのチームワークを一層高めてまいります。施設の利用者の方々もまた多様な人々の集団です。一人一人の個性を尊重することを大切に医療・介護を行ってまいります。

私たちの使命は、各分野のプロフェッショナルとして、お年寄りが自分らしく生きることを、そのご家族と一緒に支えていくことです。お一人お一人の満足と安心の笑顔を引き出して、自分の場所を得て生活できるよう支援していきましょう。

新しい1年がはじまります。新たな道程を一つのチームになって前へ進みましょう。
本年が皆様にとって良い1年になりますように祈念して、年頭のご挨拶といたします。
本年もよろしくお願い申し上げます。



「みゆき祭」を開催しました

皆様、ありがとうございました。

10月5日（日）にみゆき会病院駐車場をメイン会場として、初の試みとなるみゆき会病院・みゆきの丘合同のお祭りを開催しました。多くの地域の方々にもお越しいただき、当日は800名を超える方々にご来場いただきました。

屋外ステージでは、音楽やフラダンス、キッチンカーのおいしいグルメなどで楽しんでいただき、屋内ブースでは特に、病院の施設を一部開放し、「手術室体験ツアー」やナース服などを使用し「看護師なりきり体験コーナー」など、子どもたちで賑わっていました。

改めて地域の皆様に支えていただいていることを実感すると共に、なお一層地域のインフラとして信頼いただけるように、職員一同気持ちを新たにいたしました。皆様のご来場、心より感謝申し上げます。



みゆきの丘「敬老会」開催

9月の敬老の日に合わせ各フロアで敬老会を開催しました。

敬老会の内容は様々でしたが、職員一同心よりお祝いさせて頂きました。

代表して歳祝いの方に賞状をお渡ししたり、職員によるソーラン節の披露やボランティアの方に来て頂き歌でお祝いしたりと、各フロアで沢山工夫をして喜んで頂けました。

また、ご家族様も招待し一緒にお祝いしたフロアもありました。敬老会を通してご家族様との交流を図る良い機会にもなりました。ご家族様からお祝いのカードを受け取った時の嬉しそうな笑顔はとても素敵でした。

みゆきの丘の利用者様は100歳以上の方も数名いらして、中にはお元気な方もいます。

利用者の皆様にはこれからもお元気に楽しく過ごして頂きたいと思っています。



令和7年度 山形県介護老人保健施設村山地区職種別研修会

介護老人保健施設みゆきの丘 ケアサービス副部長 吉田 憲 弘

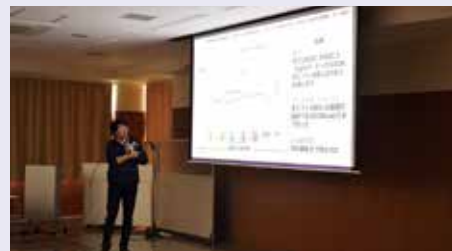
10月23日（木）に、みゆきホールにて老健村山地区の職種別研修会を行いました。村山地区の老健が集まり研修を行うのはコロナ禍を経て6年ぶりとなります。

今回の研修会のテーマは「その人らしい最期を支える老健の役割」と題して「看取り」の研修会を行い、村山地区の10施設老健から52名の参加がありました。講師には県内外で活動的に活躍する一般社団法人My wells 地域ケア工房の神谷先生をお招きしての講演とグループワークを実施しました。

講演では神谷先生のこれまでの体験談も交えながら看取りが近い時期の判断、利用者様やご家族様へのコミュニケーションで大切なこと、死が近い時期の心身のケアなどを学びました。

グループワークでは各施設より職種別にグループに分かれディスカッションを行いました。今回は特に医師である施設長の皆様にも参加をいただき専門分野でより深い話し合いが出来たと感じました。

参加者全員がそれぞれの看取りに対する思いを持ちつつ会場が一つとなり、充実した研修会となりました。



勉強会を行いました

リスクマネジメントとコンプライアンスについて

11月13日、職員を対象に「リスクマネジメントとコンプライアンス」の勉強会を行いました。



利用者様の安全を守る視点や普段の言葉遣い、コミュニケーションの重要性など、職員一人ひとりが日々の業務を少し立ち止まって見直す良い時間となり、アンケートでも「すぐ活かしたい」や「職場の風通しを良くしていく」といった前向きな声も多く聞かれました。

ちょっとした油断に注意して、ちょっとした心配りを大切に、利用者様の生活をしっかり支え、職員同士も気持ちをしっかり繋ぎ、これからも安全で温かいケアを提供できるよう職員全員で努めてまいります。

プライバシーについて

12月9日、プライバシーについての勉強会を開催しました。全職員を対象に、みゆきの丘で使用しているプライバシー・個人情報保護のマニュアルを使用して講義を行った後、グループワークを行いました。



プライバシーの侵害にあたることは何か？私たちはどのようなことに気をつけなければいけないのか？ということ、入浴や排泄のシチュエーションごとに皆で考えました。

参加したスタッフからは自分自身の行動の振り返る機会になった、話し合ったことを今後のケアに活かしていきたいとの声が多く聞かれました。

介護をすることは、必ず利用者様のプライバシーに触れることになります。日頃のケアにおいてもプライバシーを守り、しっかりと取り組んで行きたいと思えます。

3番街看護師 村上 真弓

「マダニ媒介に伴う感染症の現状と注意点、対処」と題し、施設長の佐藤伸二医師よりSFTS（重症熱性血小板減少症候群）について講義を受け、SFTSとは何か、その原因、感染症の分類、日本でのSFTS発生状況と分布、診断方法について学びました。

SFTSウイルスを保有しているマダニに刺されることにより感染するのですが、もともと西日本に多く発生していた感染症でした。異常気象の影響もあり、今や全国へ拡大しつつあるようです。治療方法是对症療法で近年抗ウイルス薬が認可されました。感染すれば命に関わるような重症化を招くため、予防することが何より大事です。予防方法としてはマダニに噛まれない工夫（草むらに入るときは長袖・長ズボン、防虫剤の使用）、噛まれたらあわてて取らずに皮膚科を受診することなど、基本的なことが大切です。ペットブームの昨今、犬・猫・ヒトからの感染もあるため注意が必要であり、家族と同様に扱われているペットにも駆虫薬や予防接種も必然のようです。

当施設でも皆様と共に正しい知識を共有し、健康で安心して過ごせる環境づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

年男・年女の職員に今年の抱負を書いてもらいました

3番街 澁谷 明生

人生の半分は生きました。
今年は新しい事にチャレンジ
したいと思います。

5番街 石沢 溪太

一騎当千。圧倒的な力や
存在感を発揮し、仕事での
相当な活躍を目指す。

3番街 稲毛 陽一

家族みんな
健康で過ごせますように。

3番街 木村かおり

家族が皆健康で過ごせること。
個人的には体力作りを
頑張りたいです。



5番街 中鉢 拓郎

千軍万馬。経験豊富で頼もしい
強さを目指し、過去の経験を
活かしてさらなる飛躍を遂げる。

3番街 高瀬 優人

馬のように全力で走る時と
草を食べ休む時の
メリハリをつけます。

グループホーム笑顔 小林 則昭

ヒラメ10枚、ゴルフ80台、
ボウリングパーフェクトです。

3番街 増田 彩香

美味しい物をいっぱい食べて
楽しく過ごしたいです。

2番街 加藤 琢也

駆け抜ける馬のように、迅速かつ
的確に状況を判断し、
利用者様のために
一生懸命頑張ります。

2番街 渡部 卓也

年男の勢いを力に変え、
目標達成に向け何事にも
挑戦する一年にします。

みゆきの丘「ホームページ」もご覧ください。

ホームページURL <https://www.miyuki.or.jp/oka/>

Q みゆきの丘

検索



介護老人保健施設

みゆきの丘

〒999-3161 山形県上山市弁天二丁目2-11

TEL: 023-672-8585



QRコード

ケアワーカー募集中！ 詳しくはお問い合わせください